

土砂災害の原因と私達にできること

甲陵中学校 二坪

窪田 瑞樹

ある日突然、人間の生活や命をうばう土砂

災害。今年の七月、それは突然やってきた。

私はそのとき、部活をしていた。部活が終わ

り、塾から帰ってきて一番最初に目にした二

ユースがそれだ。熱海市で土石流発生。家や

電柱を巻き込みながら激しく流れくる土石

流に私はとても怖い恐怖を感じた。そして、

こんなひどい被害をもたらす土石流をどう

すれば防ぐことができるのか、熱海の土石流

を手がかりに、土砂災害の原因や、命と生活

を守るためにできることを考える。

まず、土石流が起こる原因を調べてみた。

すると、土石流は、地震が起き、崖にある土

が崩れ、それが雨水などに混じることによっ

て起こると分かった。つまり、土石流の直接

的原因は、地震と雨水であることが分かった。

これを知り、私は土石流そのものを防ぐこと

は難しいのではないかと感じた。なぜなら、地震などの自然災害は、私たち人間が様々な技術を持って対抗しても到底防ぐことができないと考えているからだ。でも、日本は昔から地震大国であったし、その対策も講じていただろうから地震によって起こる土砂災害に対しては対策はあったはずである。だが調べていくうちに、最近では地震よりも、大雨の影響が強いということが分かり、地震対策だけでは不十分であるということが分かった。

大雨も自然のものであり、雨を止ませることはできないだろう。やはり、人間にはどうすることもできないのか。いや、違うと思う。以前、社会の授業で防災と減災というものを学んだ。土砂災害そのものを完全に防ぐことは難しいが、原因を取り除いていくことで防災はできる。熱海の土石流を元にし、土砂災害の防災について考えてみる。

熱海の土石流は地震はほとんど関係なく、

盛り土と呼ばれるものが直接的な原因になっ
ていた。盛り土というのは、人間が山のよう
な斜面のある土地に住みやすいように、木を
切り、土を盛って土地を平らにすることだ。
つまり、人間が自然に手を加えていると言っ
ことだ。このように、自然に手を加え、その
加減を見誤ることによって自然を壊す。環境破壊が
熱海の土砂災害の原因となっていた。さらに
熱海の土砂災害では、この盛り土の他に、短
時間に記録的大雨がふるといふ異常気象も相
まっていた。これは、地球温暖化によるもの
で、これもまた、人間によって行われている
環境破壊である。つまり、熱海のような土砂
災害を防止するためには、これ以上の環境破
壊をやめるべきであると考えられる。もしこのま
ま地球温暖化が進んでいったら、今後六十年
ほどで年間降水量は百五十ミリほど増加する
そうだと。そうすると、今後さらに大雨などの
異常気象が続き、土砂災害の量も増え
てしまうだろう。この地球温暖化による土砂

災害を抑制するためにも、一人一人が生活の仕方を見直し、節電節水やフードロス削減などの環境を守る行動を行っていくべきである。一方、いくら防災をしても土砂災害が完全になくなる事はない。だから、もしも土砂災害が起きたときに命を守るようにするためには、やはり適切なタイミングでの避難が必要だと思う。日頃からハザードマップを見たり、家族

内で災害があったときの集合場所の確認などをしておくことで、避難方法が明確になり、避難をスムーズにすすめることができる。しかし、いくら避難場所や危険な箇所を確認したところで災害が起こってからの避難では意味がない。災害に関する様々な情報をチェックし、先を見越した行動をすることが大切だ。さらに、自分たち家族だけでなく、地域の住民の避難を手伝う事も重要だと感じる。最近

関係が薄れてきていると感じる。このままだと、もし災害が起きたときに体の不自由な人や高齢者が取り残されてしまう可能性もある。大雨、それによる土砂災害が増えてきている。今だからこそ、地域住民との関わりを大切に、お互いが助け合えるような関係を築いていくことも重要であると考える。

一人一人が自分の命を守る行動。地域住民同士でつながり、助け合う行動。未来の日本を考え、地球環境を守るための行動。結局、

日本のこれからは国民一人一人の行動にゆだねられていると言っても過言ではない。環境を守るための行動をすれば、土砂災害による被害を減らすことができる、地球や人の命を守ることができるということを頭に入れ、今後の行動を見直していききたい。